

社会・地域貢献

中央大学ボランティアセンター、教養番組『知の回廊』、「中央大学杯スポーツ大会」に加え、生涯学習講座「クレセント・アカデミー」を通じた自主的活動の支援、地域の発展はもとより、学生の学びの過程自体が社会貢献となるように、多岐にわたる活動を行っています。本学が有するキャンパスの所在地である八王子市、文京区と包括連携協定を締結しており、地域に根差した社会貢献活動にも幅広く積極的に携わっています。

社会連携と社会貢献に関する理念

本学は、これまで、「広く知識を授け、深く専門の理論および応用を教授・研究し、もって個性ゆたかな人間の育成を期するとともに、文化の創造・発展と、社会・人類の福祉に貢献することを使命」として、建学の精神である「實地應用ノ素ヲ養フ」教育と研究を発展させるとともに、これら教育研究活動を通じて、広く社会に貢献することに努めてきました。また、大学の本来の使命および機能としての教育研究に加えて、「社会連携」と「社会貢献」を新たな使命として位置付け、「行動する知性。－ Knowledge into Action －」のユニバーシティメッセージの下、人的・物的・組織的体制を整えて取り組み、人類の抱える地球規模の問題解決に貢献する決意を表明し、この理念を本学公式 Web サイトに掲載しています。



<https://www.chuo-u.ac.jp/usr/idea/>

近隣自治体との包括連携協定

本学は、キャンパスを有する八王子市および文京区に加え、立川市、多摩市とも包括的連携協定を締結しています。

これらの協定は、人材の育成ならびに地域社会の発展を目的とし、共同研究の実施、ワークショップの開催、地域イベントへの参画など、多岐にわたる連携事業を展開しています。

こうした取り組みを通じて、地域が抱える課題の解決および地域活性化を推進するとともに、本学における教育・研究の一層の充実を図り、地域社会の発展に寄与しています。

サイバーセキュリティ人材育成に係る産学官連携協定

コロナ禍をきっかけのひとつとしてデジタル化が進み、デジタル空間はより一層「公共空間」としての重みを持つことになりました。デジタル化推進の中、課題になっているサイバーセキュリティの知識、技能を有した人材の育成を解決することに資するため、中央大学は明治大学専門職大学院ガバナンス研究科、東京電機大学、LINEヤフー株式会社、大日本印刷株式会社、株式会社三菱UFJフィナンシャル・グループ、警視庁サイバーセキュリティ対策本部と「サイバーセキュリティ人材の育成に関する産学官連携についての協定」を締結しました。

本学は、サイバーセキュリティに関する専門的知見を各機関へ提供し、リテラシー教育等に加え、新しい領域での法秩序の在り方に関する研究の場を創造していきます。



人権問題講演会

本学では、一貫して基本的人権の尊重を大学教育の基本理念とし、自由と平和、人間の尊厳を擁護する意識の涵養を重要な教育上の課題としてきました。一切の差別を許さないという基本姿勢を学内外に示し、人権擁護を目的とする人権教育を推進するとともに、1985年以来、「人権問題についての講演会」を実施しています。

茗荷谷キャンパスと地域との共生

2023年4月に開校した茗荷谷キャンパスには郵便局、保育所、キッズルーム等の施設のほか、文京区の地域活動センターも併設されており、地域インフラの一翼を担っています。

2023年12月には、公益財団法人文京アカデミー主催の地域とのつながりを深める生涯学習講座「大学プロデュース特別公開講座(学長講演会)」を茗荷谷キャンパスで開催しました。

多摩地区における地域連携活動

本学は、「大学コンソーシアム八王子」に設立当初から加盟し、多摩地域の特性を活かした大学・行政・企業・住民との連携活動に多くの学生が参画、貢献しています。また、新しい学びのカタチとして「だれもが自由に学べる開かれた学び舎」である八王子学園都市大学(愛称:いちよう塾)にも参画し、毎年複数の科目を開講しています。



大学コンソーシアム八王子主催の「夏休み子どもいちよう塾」の様子。2024年度は「VRは見るものからつくるものへ」をテーマに小学校4～6年生を対象に開催され、本学の斎藤正武教授(商学部)が講師として登壇しました。

学術講演会

中央大学学術講演会は、本学での学術研究の成果を社会に還元することを目的に、一般市民を対象に開催している講演会です。本学教員がその専門性を活かし、時事的な内容や地域に密着したテーマを取り上げて講演します。

全国への出張型講演のほか、2021年度からはオンライン講演会も開催し、多くの方にご参加いただいています。

中央大学杯スポーツ大会(中大杯)

中央大学杯スポーツ大会(略称:中大杯)は、スポーツを通じて地域の方々との交流を深めるとともに、地域の小・中学生の健全な育成に寄与することを目的として、1991年に開始された行事です。

2024年度大会には、近隣9市から71チーム、約1,100名の選手の皆様にご参加いただき、応援者やイベント参加を含めて延べ5,600名が来場されました。中大杯は、地域に根差した恒例行事となっております。

大会開催と同時に本学運動部に所属する学生アスリートによるスポーツ教室、スタンプラリー、キッチンカー等のイベントも併せて実施しており、参加された児童・生徒の皆様や保護者を含む近隣の方々からも毎年ご好評をいただいております。

クレセント・アカデミー

クレセント・アカデミーは、オープンカレッジ構想のもと、在学生と市民の共学の場として、本学の教室や体育施設などを利用し、誰もが参加できる生涯学習講座を開講することを主たる事業として1986年にはじまりました。多摩キャンパスだけでなく、駿河台キャンパスなども利用して、文芸・教養、健康、スポーツ、外国語など、約65タイトルを用意し、広く生涯学習やキャリアアップの場として活用されています。社会のニーズにあわせてオンライン講座も開講しております。

生涯学習講座の一例

大人の知性に響く旬なテーマから充実したジュニア向けの講座まで、多彩なプログラムを展開し、好評をいただいております。



模擬裁判員裁判で学ぶ法律学
本物さながらのリアルな「模擬法廷」において、実際の裁判シミュレーション体験をしながら裁判員裁判について学べます。



ジュニアバスケットボール教室
恵まれた大学施設でスポーツ界のトップレベルのアスリートたちが指導します。

講座のお申し込み

本学公式Webサイトから、もしくは電話・FAX(クレセント・アカデミー事務局)で受け付けています。



こどもアカデミー STEAM(プログラミング)教育
小学生向けに様々なジャンルのプログラムを体験できる夏休み向け特別講座なども開催しています。



在学生向け就職支援講座
学員(卒業生)の寄付により受講料が補助されています。

<https://www.chuo-u.ac.jp/crescent/>



教養番組『知の回廊』

教養番組『知の回廊』は、大学のもつ「知の資源」である教育、研究活動を視覚的にわかりやすく表現し、地域住民をはじめ多くの方々に“学びの場”を提供する社会貢献活動の一環として多くの視聴者に親しまれています。

J:COMと共同で番組を制作、ケーブルテレビで放送しています。これまでに163回放送しており、中央大学公式YouTubeでも視聴いただけます。



2024年度制作番組

- 第163回 統計はタイムカプセル
- 第162回 センサーナッジ～感覚マーケティングで社会課題に挑む～
- 第161回 労働力不足を克服するための研究-労働市場の未来推計2035
- 第160回 乳児の視覚世界
- 第159回 未来の共生社会を築く「異文化マネジメント」
- 第158回 持続可能な未来の都市をデザイン 都市緑化技術の最前線

<https://www.chuo-u.ac.jp/usr/kairou/>



エクステンションセンター(中央大学出版部)

出版、保険および学生サービス事業の3部門で構成され、出版活動を中心に収益力の向上による大学財政への寄与を目指しています。

出版事業は、昭和23年に創設された歴史ある大学出版部であり、研究者の研究成果を世に問うという使命を大きな特色とし、学術専門書を中心に、良質の教科書、教養・啓蒙書を毎年多数発行しています。2024年度の新刊の書籍は23点、紀要・学術雑誌類は48点刊行し、そのほかに増刷を行った書籍もあります。刊行物の詳細は、Webサイト(<https://sites.google.com/g.chuo-u.ac.jp/chuoup/>)にて

ご覧いただけます。書籍は全国の書店、オンライン書店でもご購入いただけますが、多摩キャンパスおよび駿河台キャンパスにおいては直接購入が可能です。

